

# 特別支援教育便り NO. 3

原田小学校  
特別支援教育係  
2024年1月10日(水)

## 新年明けまして おめでとう ございます



新年の幕明けとともに、能登半島地震や羽田空港火災の報に触れ、いつもとは違う思いで3学期を迎えました。

世界を見回しても、まだ各地で戦闘が続き、逃げ惑う市民の様子や、医療や物資が不足して困窮している状況が連日伝えられています。

いずれも胸が締め付けられる思いです。一日も早く復旧が進み、平和な世の中になることを願わずにはられません。

さて、過日、牧之原特別支援学校の先生から、障害者雇用・福祉的就労における進路実現までの取組についてお話を伺う機会がありました。たくさんのお話の中から、企業が求める人材について、今後、学校や家庭でも重視すべきポイントがありましたので、御紹介します。

### 1 会社がどのような人を雇いたいのかを知る。

- ① 毎日きちんと通勤でき、決められた約束を守れる人
- ② その会社で働きたいという意欲がある人
- ③ 基本的な生活態度（あいさつ、マナー）ができてきている人
- ④ コミュニケーション能力がある人（困ったときにSOSが出せる人）

### 2 家庭でできること。

- ① 規則正しい生活を送る。
- ② あいさつ、言葉遣い、身だしなみに気を付ける。
- ③ しっかり食事をとり、時間を守る。
- ④ 進んで家の手伝いをする。

どれも当たり前で簡単なことのようにですが、お子さんの場合はいかがですか？

「当たり前のことをきちんとする！」を今年の目標に掲げてみるのもいいのではないのでしょうか。



## 本の紹介

にここ、すてきな女の子にあって。やりたい勉強があって、大学をめざしてはりきっていた。電動の車椅子に乗っていた。体のなかで動かすことができるのは、指先と、目や口だけだった。日に日にだんだん体が動かなくなる病気。

～途中省略～

彼女は、私にいろいろなことを考えさせてくれた。そして、「どんなかんじかなあ」が生まれた。ひろとくと彼のともだちの話が、あなたにいろいろな考えを運んでくれたらいいな、と思う。（中山千夏さんのあとがきより抜粋）

※ この本は、本校では「3年生の必読書」に選定され、卒業までに必ず全員が読むようになっています。「生まれてきてよかった」「自分にもできることがある」等の自尊感情は、学習意欲の向上や良好な人間関係を築く源になります。世の中にはいろいろな人がいることをこの絵本から感じ取り、自分の良さについて考えるきっかけにしてほしいと思います。

「れいさん、ありがとう」

一ねん はら ほか

わたしには、大すきなともだちがいます。れいさんです。わたしが、上ぎのボタンをかけられなくてこまっていると、すぐにやってきて手つだってくれます。

休みじかんに、わたしが一人っていると、れいさんがやってきて、「パズルでいっしょにあそぼう。」

といてくれます。

だから、わたしは、れいさんが大すきです。れいさんがいるから、学校がたのしいです。

（「市の言の葉」に応募した作文）